



# こころ

第2号

2010.10 発行

## ～市民病院50周年特集号～



昭和45年当時の市民病院

### 病院長 コラム

#### 病院長から患者さんとお家族へ

病院長 鬼頭 文彦

横浜市立市民病院は今年、創立50周年を迎えました。昭和35年にベッド数42床で開院して以来、再整備、増床を繰り返し、現在のような650床の大きな病院に成長いたしました。これも市民の皆様方のご協力によるものと感謝しております。今後も、急性期の治療を行う横浜市の中核病院として、市民の皆様のご要望に応えられるよう、職員一同頑張っていきたいと存じます。

さて、市民病院は本年4月に救命救急センターの指定を受けました。これは高度な救急医療を行うために、都道府県知事が指定する医療機関で、全国で約230箇所、神奈川県には15箇所あります。この指定により市民病院は、軽症から重症まですべての救急患者さんを診療する「ER型救急病院」として運営していくことになりました。外来、入院施設も改良し救急医療に対応しておりますが、多数の救急患者さんに満足していただける診療を行うには、医療スタッフも施設もまだまだ不十分な状態です。いろいろご不便をおかけしていると思いますが、ご理解の上、ご利用いただくようお願い申し上げます。





# \* 市民病院は50周年を迎えました \*



昭和55年 看護婦詰所



平成6年 クリスマスのタベ



平成21年度 研修医（1年次）

| 年         | 市民病院のあゆみ                                 | 国内、横浜市の出来事など                      |
|-----------|------------------------------------------|-----------------------------------|
| 昭和34年     |                                          | 皇太子殿下(現、天皇陛下)ご成婚                  |
| 昭和35年     | 病院開設(10月4科42床)                           |                                   |
| 昭和39年     | 救急指定病院承認                                 | 東京オリンピック開催                        |
| 昭和45年     | 増床(病床数399床)                              | 大阪万博開催                            |
| 昭和56年     | がん検診センター完成                               |                                   |
| 昭和61年     | 再整備により南病棟完成                              | 戸塚区から栄区、泉区が誕生(分区)                 |
| 平成元年      | 再整備により東病棟完成                              | 横浜博覧会開催<br>ベイブリッジ開通               |
| 平成3年      | 再整備により西病棟完成                              |                                   |
| 平成5年      | 感染症外来開設                                  | 市営地下鉄があざみ野まで開業                    |
| 平成10年     |                                          | 横浜ベイスターズが日本一に                     |
| 平成14年     |                                          | ワールドカップサッカー開催                     |
| 平成14年～15年 |                                          | 海外でSARS(重症急性呼吸器症候群)が大流行し、国内でも厳重警戒 |
| 平成18年     | 地域がん診療連携拠点病院指定<br>内視鏡センター開設<br>外来化学療法室開設 |                                   |
| 平成21年     | 緩和ケア病棟完成                                 | 横浜開港150周年<br>新型インフルエンザ大流行         |
| 平成22年     | 救命救急センター指定(病床数650床)                      |                                   |

これからも、市民の皆さんの安心・安全を守り、信頼される病院を目指していきます。

## 診療科・部門紹介

## 救命救急センター（救急総合診療科）

### ○「24時間、365日断らない救急」

- 救急患者さんを受け入れる病院は一次～三次救急医療機関の3区分に分けられており、患者さんの病状に応じて役割が与えられています。
- 市民病院はこれまで二次救急医療機関として、自力で来院される救急の患者さんから心肺停止をはじめとした重篤・重症な患者さんまで可能な限り数多くの救急患者さんを受け入れてきました。
- こうした取組が評価され、平成22年4月に「救命救急センター」として指定を受け、より症状の重い患者さんの対応を図る病院に位置づけられました。
- 「24時間365日断らない救急」を基本方針として、市民のみなさんの安全・安心を守るため、日夜努力しています。

### 参考メモ

- 一次救急：**外来診療により帰宅可能な軽症な患者さん
- 二次救急：**入院治療が必要な中程度～重症な患者さん
- 三次救急：**生命に危険のある重篤な患者さん



### 【平成21年度 救急患者数などの実績】

- 救急患者数：20,894件
- 救急車受け入れ台数：6,779件 **市内トップクラス！**
- 救急入院患者数：4,862件
- うち院外心肺機能停止症例：325件



## 便秘で悩まれている方へ その1

内視鏡センター長 水上 健

便秘でお悩みの方は多いと思いますが、便秘にはいくつかの原因があります。

- ①がんなどの腫瘍で便の通過が困難なもの
  - ②糖尿病や腹部の手術後、睡眠薬や安定剤を内服していて腸の運動機能が低下しているもの
- ※①②は原因がはっきりしており、その治療や対応が病状を改善させます。



### ③生まれつきの腸の形により便の通過が困難なもの



図1

便秘の原因が「腸の形によるもの」ということを、聞いたことがある方は少ないと思います。腸の形は人によって様々なパターンが存在します。図1のような形が一般的で、このような腸の形の方には排便障害はほとんどありません。

図2のように腸にねじれが多くある形の方に、便秘の方が多くなくなってきました。私は無麻酔でも苦痛がほとんどない大腸鏡「浸水法」という検査や過敏性腸症候群の内視鏡診断を開発し、治療に応用しています。私の開発した「浸水法」は腸のねじれに合わせて、ねじり操作で内視鏡を挿入していくため大腸の形を把握しながら検査します。図1のような腸の方は大腸検査が数分で終了し、便秘の方がほとんどいないのに対し、図2のような腸の方は、検査に3倍以上時間がかかるとともに便秘を訴える方が多いことがわかってきました。すなわち「内視鏡が入りにくい人は便も出にくい便秘の人が多い」ということです。

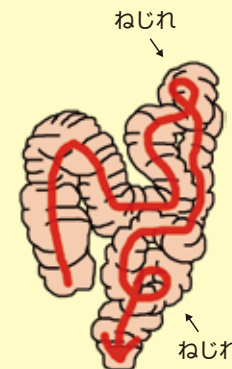


図2

▶次号は便秘体操・マッサージを紹介します

「浸水法」などについては市民病院のホームページをご覧ください。 <http://www.city.yokohama.jp/me/byouin/s-byouin/35naishikyoku.html>

### ○医師の体制や設備について

- 当院の救命救急センターは、センター専属の医師が常時待機し、初期の対応を行っています。また、専門的診療や入院が必要と判断された場合、各診療科医師と協力して対応しています。
- 救命救急センターの開設に伴い、救急搬送患者さんと自力で来院される救急の患者さんの動線の確保、診察室や治療室のレイアウト変更、CTやレントゲン撮影装置の整備など、より円滑・的確な対応が図れるよう取り組みました。
- また、重篤・重症な患者さんが入院する病棟（HCU）を18床整備すると共に、集中治療室（ICU）を10床に増床するなど、これまで以上に重症な患者さんの受入を可能とする整備も行いました。

### ○患者さんへのお願い

先ほどもご紹介しましたが、当院は幅広い症状の患者さんを可能な限り数多く受け入れていることから、診察までの待ち時間が長時間に及ぶ場合や、重篤・重症の患者さんを優先的に診察する必要があるため、順番が前後するなど、ご迷惑をおかけすることがあります。スタッフ一同、的確・迅速な診療を心がけておりますので、何卒ご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。

### ○救命救急センター長からのメッセージ

今年4月から、横浜市内で7箇所目、神奈川県で15箇所目の救命救急センターとして指定を受けました。スタッフ全員が一丸となり、これまで以上に気合いを入れ、救急医療の最前線で頑張っていく所存です。

今後、さらに重症の患者さんが増えることも予想され、待ち時間が長くなるなど皆さまにご迷惑をおかけすることも多くあるかもしれませんが、どうぞご理解・ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。



詳しくは市民病院のホームページをご覧ください。 <http://www.city.yokohama.jp/me/byouin/s-byouin/30kyukyu.html>





## おすすめ レシピ

# 秋鮭ときのこのちり蒸し

(200kcal タンパク質 20g 脂質 7g 塩分 2g 鉄分 2.5mg 食物繊維 3.5g)

短時間で手軽に作れて栄養バランスもとれます。旬の魚と野菜で美味しく、食物繊維もたっぷり。寒い日は体も温まります。

### 【材料】1人分

|            |        |            |        |
|------------|--------|------------|--------|
| 秋鮭……………    | 半切れ    | ほうれん草…………… | 1/3束   |
| 絹ごし豆腐…………… | 1/4丁   | だしこんぶ…………… | 8cm角程度 |
| まいたけ……………  | 1/4パック | 酒……………     | 大さじ1   |
| しめじ……………   | 1/4パック | ポン酢（市販）……… | 大さじ2   |

### 【作り方】

- ①耐熱皿にこんぶを敷き、鮭と豆腐をのせて酒をふる。
- ②きのこことゆでたほうれん草ものをのせてラップをかけて、電子レンジで4～6分（500～600W）加熱する。
- ③レモンなどをしぼって、あればポン酢でいただく。

### おいしいヒント！

いろいろな材料で代用できます。タレは蒸したてにかけても食べやすいです。魚はタラやタイなどの白身魚も合います。冬場は長ねぎや春菊もいいですね。お好みで七味唐辛子やゆずこしょうを添えて。



※治療中の方へ：塩分を抑えたい方はタレを抑えめに。タンパク質を抑えたい方は魚や豆腐の量を抑えめに。胃や大腸など消化管の手術後の方は、きのこを白菜などの消化の良い野菜に代え、よく加熱しましょう。



## みなさまからの声

患者さんやご家族から寄せられたご意見と  
当院の対応・考え方などをご紹介します

### Q1 病院の中では携帯電話は使用できないのですか？

A1 病棟デイルーム、家族控室等、一部の場所でお使いいただけます。

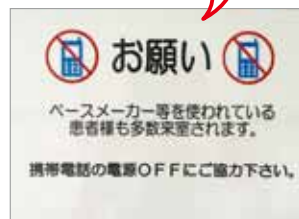
### Q2 病棟の共用トイレの個室が狭くて、点滴中は使いづらいです。

A2 施設の老朽化などのためご不便をおかけしています。一部の病棟について、共用トイレの個室を車いす対応のトイレに整備していくことを検討しています。



使える  
場所

使えない  
場所



横浜市立

市民病院

☎ 045-331-1961 (代)

〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56 番地

**診療受付** 月曜日から金曜日（土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休診）

○新患の方：午前8:30～11:00（診療開始8:45）

○再診の方：午前7:30～11:00（診療開始8:45）

※市民病院は原則、初診紹介制となっております。他の医療機関からの紹介状をお持ちください。

### 救急時の受入について

○平日日中：原則、救急車による搬送患者さんのみ受け入れを行っています。

○夜間・休日：必ずお電話にて連絡の上ご来院ください。